

## よしひろ日記

こんにちは。皆様のあたたかいご支援により当選の榮譽を勝ち取ることができ、心より感謝申し上げます。

去る、5月16日～18日まで臨時会が行われ、東日本大震災関連議案と議会人事が話し合われました。議会人事では、**他会派VSみんなのクラブ**といった構図になりましたが、皆様から託されました民意をしっかりと県政に反映できるように更なる努力をいたします。

初年度は**生活保健福祉委員会**と**予算特別委員会**に配属されることになりました。生活保健福祉委員会は、公約に掲げさせていただきました**“医療・介護・子育て”を担当する委員会**です。また、予算特別委員会は、県執行部が提示してまいりました予算に対し**審議する委員会**です。**現場の声を県政に届け、皆様の不安・不満の改善に全力を尽くして頑張るまいります。**

先日の下野新聞等に掲載されました**栃木県議会議員報酬削減**につきましては、とちぎ自民党が**5%削減**を議長案として提示してまいりましたが、私どもは**議員報酬30%削減を訴えております**。現在、栃木県知事20%、副知事15%、監査・教育長10%、県職員5%削減を行っているのに二元代表制の県議会において5%削減はありえないと考えています。みんなのクラブ13名一丸となって議員報酬30%削減を推し進めてまいります。

更なるご支援よろしくお願い申し上げます。

追伸、9月定例議会本会議2日目11時15分から一般質問を1時間予定しております。

### 議会裏話・裏事情

#### 議会人事の裏話

議会人事では、議長や副議長そして各委員会の委員長・副委員長を指名推薦したり意見が割れば選挙をしたりして決めるんですが…。

今回は、自民党と公明党(これは自公政権得意技)に犬猿の仲であり考え方や選挙で訴えてきた事が全く違う**民主党がまさかの相乗り**をいたしまして…その代わりとして民主党に副委員長2席、公明党に副委員長を1席を自民党が用意するといった、指名推薦での人事決定が成されました。【国政より先に政界再編してしまうのかな…】人事では平気で手が組めてしまう…これはさすがに**違和感**を感じました。

「んー…議員の皆様大人だから…政策と人事は本音と建て前で別物？」

「あ…有権者との約束守るためには手段を択ばないとゆう事かな…」**理解に苦しみます。**

#### 栃木県議会議員報酬削減裏話

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、そもそも二元代表制とは、地域住民が**首長と議員**【県の場合は、**県知事と県議**】をそれぞれ**直接選挙で選ぶ制度**を意味します。自民党・民主党は人事で手を組みましたが…大変仲良しの**知事と自民党**、どうして**違う意見**なんですかねー。

「それにしても議員報酬削減たったの5%って…本気で県の事考えてるのかなー」

## 「佐原 吉大後援会設立」につきまして

### 1. お金をかけない選挙を考える。

「お金さえかければ当選できる選挙は民意ではなく票をお金で買うような選挙違反を招く可能性を増大させてしまいます。」

### 2. 支援・推薦団体を持たず県民本位の後援会作りを考える。

本来、「支援・推薦団体は、団体の利益となる政策を候補者と共有する為に支援、推薦をする」悪いことでは無いが議会活動の手枷・足枷となり民意を反映しにくくなる可能性を多大に秘めています。

### 3. 選挙期間中の後援会について

「新人の選挙では、後援会の幹部となる方に大きな負担をかけてしまう」こと、また「今回の選挙手法がはたして選挙区内で通用するか未知数である状態」で後援会を持てば、会員を不安にさせてしまい後援会と候補者・選対との調整が難しいと考えたため後援会を作りませんでした。

## 後援会について(仮称)「さくら会」

※ご入会いただける方は、必要事項ご記入の上ハガキをポストへご投函下さい

佐原 吉大を後援することにより、地域の発展と県民生活の向上を図り、合わせて会員相互の親睦を深める目的とし、党通信/会報等の発刊・配布による議会・活動報告、また座談会等の開催による意見交換の場を持つこれらの活動により、議会や政治をもっと皆様の身近なものに、みんなで作る自慢のとちぎ、自慢の後援会となり、如いては後援会の皆様とご家族の幸せにつながる事信じ、会を結成いたしたく存じます。また、別枠で各分野(医療・介護・教育・福祉・環境・土木建築・行政サービス・その他)の従事者グループの専門分野別後援会も設立致します。